

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-3_スポーツの振興と競技力の向上

基本計画		事業番号	細事業名称
5-03-01	生涯スポーツの振興	10113_16	地域スポーツ育成事業
5-03-01	生涯スポーツの振興	10113_21	知的障がい者児スポーツプログラム実践助成事業補助金
5-03-01	生涯スポーツの振興	10525_01	新居浜市文化スポーツ大会開催支援奨励金
5-03-01	生涯スポーツの振興	10542_01	あかがねマラソン大会開催事業
5-03-01	生涯スポーツの振興	10606_01	新居浜市スポーツ未来創造事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10113_02	新居浜市駅伝競走大会助成事業補助金
5-03-02	競技スポーツの振興	10113_07	全国招待少年剣道大会補助金
5-03-02	競技スポーツの振興	10113_17	各種全国大会出場奨励金
5-03-02	競技スポーツの振興	10113_23	新居浜市ソフトボールジュニアカップ開催助成事業補助金
5-03-02	競技スポーツの振興	10113_32	全国大会出場奨励補助金
5-03-02	競技スポーツの振興	10306_01	青少年育成スポーツ活動事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10431_02	競技スポーツ強化事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10473_02	高校スポーツ強化指定校事業補助金
5-03-02	競技スポーツの振興	10550_01	愛・野球博開催事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10566_01	ホストタウン交流促進事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10566_02	ホストタウンPR事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10578_01	東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー等推進事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10605_01	全国高校総体推進事業
5-03-02	競技スポーツの振興	10611_01	新居浜市合宿支援奨励金
5-03-03	施設環境の整備	10357_01	体育施設環境整備事業

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10113_16		
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費		細事業名	地域スポーツ育成事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	生涯スポーツの振興		担当課	旧スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	各校区体育振興会及び校区住民			数値	117,439人		
	手段(どうやって)	各小学校校区に設置されている体育振興会もしくはそれに準ずる組織が、各校区で取り組むテーマを設定し、スポーツやレクリエーションを駆使して事業を実施する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	スポーツ・レクリエーションを通じて市民が健康増進と地域の連帯感を深め、子どもたちの健全育成を推進する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		1,498	2,400	2,400	1,228	委託料 一式 2,400千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		1,498	2,400	2,400	1,228			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
スポーツ教室等参加人数			目標値	7000	6500	0	6500	6500
			実績	6499	3733	0	2957	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>各校区の体育振興会、総合型地域スポーツクラブ、公民館が主体となり、子どもたちの体力向上、高齢者の健康増進、地域コミュニティの推進、地域スポーツ団体の活動促進に取り組んでいる。コロナ禍の中で各校区とも思うような活動が取れていない状況ではあるが、各地域の実情に応じた活動内容なっていることから、現状のまま維持されることが望ましい。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>各校区ごとの事業費が適切かについては、3年ごとに見直しを行い、地域に実情にあったものとなるよう検討を行っているため、現状を維持していくが、全体の事業費については適正化する。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小・中止などがあったが、地域のスポーツ活動を行い、住民の運動機会の創設について効果があった。</p>								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10113_21		
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費	細事業名	知的障がい者児スポーツプログラム実践助成事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	生涯スポーツの振興	担当課	旧スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	知的障がい者児(スペシャルオリンピックス新居浜所屬)	数値	約30人			
	手段(どうやって)	すでに活動しているバドミントンプログラム以外のプログラムメニューの策定					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新たな競技プログラムを開発し、知的障がい者児が行うスポーツの幅を広げるとともに、サポートしてくれる方々の輪を広げる。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	補助金 190千円	
経費		72	190	190	54		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	72	190	190	54		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
年間を通じたプログラム活動数		目標値	0	0	12	24	24
		実績	0	0	—	10	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新型コロナウイルス感染症の影響により各体育施設が休館していることから満足に活動できてはいませんが、感染症の鎮静後の活動に期待したい							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
精神的・肉体的なハンディキャップがある中で、知的障がい者児が社会と関わる重要な機会の創出につながっていることから、次年度の予算方針は現状維持とする							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
知的障がい者児のスポーツ育成(バドミントン・水泳)を実施できた。また、交流会も行い、当初の目的である、知的障がい者児が行うスポーツの幅を広げるとともに、サポートしてくれる方々の輪を広げることができた。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10525_01			
事業名(行目名称)		新居浜市文化スポーツ大会開催支援事業費	細事業名	新居浜市文化スポーツ大会開催支援奨励金				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上				
	基本計画	生涯スポーツの振興	担当課	旧スポーツ振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	本市で開催される参加者100名以上、かつ県外参加者25名以上の大会		数値	8大会			
	手段(どうやって)	新居浜市で開催される参加者100名以上、かつ県外参加者25名以上の文化・スポーツ大会に対して、上限100,000円として大会開催奨励金を支出する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市において大きな文化・スポーツ大会が開催されることにより、本市の芸術文化及びスポーツの振興を図るとともに、地域経済活性化へ寄与する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		95	800	800	0	報償費 800千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	95	800	800	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
大会開催数			目標値	20	12	5	8	10
			実績	10	1	0	0	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>昨年から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全国大会の開催は困難な状況であるため、現時点の申請数は0件である。コロナ禍においての大会実施は感染症対策の観点からも主催者の負担は大きく、また市内体育施設の度重なる休館もあり、全国規模の大会開催は困難な状況である。コロナ禍でもスポーツのできる環境が提供できることが必要である。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
<p>コロナの影響がなければ、例年8件前後の申請はあり、これまでは市内体育施設での開催がなかったフットサル競技の大会開催なども令和4年には予定しているなど1件でも多くの大会開催が本市に定着するよう、増額して要求したい。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>昨年度以上に、施設の休館・休場や、利用制限が続き、練習さえも制限される中で、全国大会の開催は非常に難しく、申請数は0件であった。その中でも、スポーツ協会など関係団体にも協力いただき、広報は行っており、年間を通して問い合わせはあるので、引き続き、SNSなどで積極的な広報を行い、状況が緩和した際には多くの団体に申請していただけるように務める。</p>								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10542_01			
事業名(行目名称)		あかがねマラソン大会開催事業費	細事業名	あかがねマラソン大会開催事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上				
	基本計画	生涯スポーツの振興	担当課	旧スポーツ振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	マラソン大会参加者		数値	1000人			
	手段(どうやって)	市民マラソン大会をリニューアルさせた「あかがねマラソン」を、山根公園を主会場にハーフマラソンコースをメインに参加者1000人規模のマラソン大会を開催する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	一人でも多くの市民の参加を得て、市民がスポーツをするきっかけづくりを提供する。また、市外県外からの参加者を得て、スポーツツーリズムによる地域経済活性化へ寄与する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	職員手当 484千円 実行委員会負担金 4,716千円		
経費		48	5,200	5,200	5,188			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	48	5,200	5,200	5,188			
	一般財源	0	0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
大会エントリー者数			目標値	2000	0	1000	1000	1800
			実績	1618	0	886	886	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>昨年度は、コロナの影響により本大会が中止となったが、第5回大会は規模縮小など徹底した感染症対策を絶対条件として、実行委員会により開催の承認を得た。12月の開催に向けて、関係機関への協力依頼など実行委員会を中心に準備を進めている。コロナ禍だからこそ、マラソン大会への市民の意欲は高く、1000人の募集に対して9割近いエントリーがあった。また、協賛企業や関係機関のボランティアスタッフについても第3回同様多くの協力を得ている。安心・安全な大会の開催に向け準備をすすめる。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>今年、第5回目を迎えて、ランナーや協賛企業の募集、関係機関へのお願いを行うなかで、多くの方があかがねマラソンを楽しみにしてくれているのを実感し、新居浜市の一大スポーツイベントとして定着してきていると感じている。スポーツツーリズムの観点からも、あかがねマラソンによる地域の魅力発信、経済活性化を目標に、回数を重ねるごとに満足度の高い大会にしていくためにも、現状維持にて要求したい。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>感染症対策として例年よりも規模縮小としたが、様々な工夫を行うことで、12月5日(日)に予定通り無事に開催することができた。制限のある大会とはなったものの、参加者からは非常に高い評価を得ることができた。あかがねマラソンをより大きく本格的な大会にしていくために、今後も運営方法などを検討していく。</p>								
<p>申込者数:886人(ハーフの部:735人、5kmの部:151人) 出走者数:792人(完走者776人) ハーフの部:659人(完走者:644人)5kmの部:133人(完走者:132人)</p>								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10606_01		
事業名(行目名称)		新居浜市スポーツ未来創造事業費		細事業名	新居浜市スポーツ未来創造事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	生涯スポーツの振興		担当課	旧スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民			数値	117,439人		
	手段(どうやって)	軽スポーツの普及、競技者の裾野を広げるため、指定管理者が実施している自主事業の拡充を図る。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	指定管理者が新居浜市のスポーツの中心的な役割を担うことで地域スポーツの活性化を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		0	12,463	12,463	12,461	委託料 一式 12,463千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	0	12,463	12,463	12,461			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
自主事業参加人数			目標値	0	0	2500	5000	5000
			実績	0	0	796	1592	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染症の影響による度重なる休館により、予定している教室など約190回のうち半数以上が未実施となっている。今後については、実施事業の再調整及び実施可能な事業の件用、施設休館の影響を受けない事業の検討などを行っていく必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
地域総合型スポーツクラブの創設、ジュニアスポーツの裾野拡大などの目標達成のために、また、指定管理者が自立した事業展開ができるよう、促進に引き続き取り組む必要があるため、現状維持としたい。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
ハンドボール教室・あかがね野球教室の開催、学生の基礎体力向上トレーニング、大人向け筋力トレーニングの実施を行い、新型コロナウイルスの影響により参加者が予定よりも少ない結果となってしまった。コロナ禍における運動離れが言われる中で、競技力と小中学生の体力向上を支えるため、令和4年度も感染対策を施し事業を継続していくことが必要である。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10113_02			
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費	細事業名	新居浜市駅伝競走大会助成事業補助金				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上				
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	旧スポーツ振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市駅伝競走大会エントリーチーム		数値	33チーム			
	手段(どうやって)	参加者を増加させるべく、関係団体への参加呼びかけ、参加しやすい競技要項への変革を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	協会、地域、学校、行政が一体となって駅伝大会を実施することにより、青少年の体力向上及び市民の健康増進意識の高揚を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		97	323	323	281	補助金 323千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	97	323	323	281			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
参加チーム数(チーム)			目標値	0	0	0	33	33
			実績	0	0	—	33	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
11月の大会開催に向けて準備が進められているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、大会開催の可否を含めて検討が必要な状況である								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
本市の掲げる「駅伝の町にいほま」の推進のため、また全国大会で活躍する中学生のモチベーションを保つために、現状維持としたい								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
新型コロナウイルスの影響により規模を縮小し、高校・中学による大会開催を行った。コロナ禍の中であってもこのような大会を開催し中学生駅伝ランナーの意欲向上と競技力向上の一助となった。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10113_07		
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費	細事業名	全国招待少年剣道大会補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	旧スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	少年剣道大会エントリー者		数値	約1500人		
	手段(どうやって)	「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」という剣道理念に基づき、剣道大会の開催を呼びかけ参加人数の増加を図る。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	剣道大会を開催することにより、小中学生の健全育成が図られ、剣道人口の増加と振興を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		0	500	500	0	補助金 500千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	500	500	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
大会エントリー者数		目標値	0	0	1500	1500	1500
		実績	0	0	0	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
全国的に新型コロナウイルス感染症の鎮静化の目途が立たないなかで、愛媛県内外(京都・大阪・兵庫・広島・福岡等)からの多数の者が参加していることから、令和3年度の大会開催は見送られた							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
令和2年度・令和3年度と大会が開催できなかったが、本大会は本市剣道の振興に大きく寄与しているとともに、地域経済にも大きく貢献していることから、次年度においても現状維持としたい							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
令和2年度・令和3年度と大会が開催できなかったが、本大会は本市剣道の振興に大きく寄与していることから、次年度においては開催できるよう現状維持としたい。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10113_17		
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費		細事業名	各種全国大会出場奨励金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課	旧スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	全国大会・国際大会出場選手			数値	約480人		
	手段(どうやって)	全国大会へ出場する選手等へ1人10,000円、国際大会へ出場する選手等へ1人30,000円の奨励金を支出する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	予選大会を勝ち抜いて、全国大会や国際大会へ出場する選手への奨励金を支出することで、今後の選手への励みとなり、本市の競技スポーツの向上と推進を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	報償費 4,800千円		
経費		1,200	4,800	4,800	3,540			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	1,200	4,800	4,800	3,540			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
全国大会・国際大会出場者数 (H30までは出場件数)			目標値	500	553	240	480	500
			実績	481	120	153	362	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>今年もコロナの影響を受け、例年通りの申請数とまではいかないが、コロナ禍でも少しずつ全国大会の開催が行われるようになってきている。申請数25件(うち1件国際大会)で153人、種目数でいうと15種目からの申請があった。引き続き、事業の広報に努めていくが、市内体育施設の度重なる休館により、思うような練習ができず全国大会に参加できない、という市民からの声もあるなかで、感染対策を行ったうえでいかに多くの方に体育施設を安心・安全に使用していただくなども課題となっている。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>コロナの影響がなければ例年申請数は多く、本事業のニーズは高いと考えられるため、事業の方向としては現状のまま維持する。なお、支出基準については、翌年度の見直しの際に、オリンピックなど世界的に名譽ある大会などに出場した選手にも対応できるよう、翌年度の見直しの際に検討したい。本事業は、市内でどのような種目が行われているか、どの種目が全国大会に出場しているのかを把握するツールにもなっており、引き続き事業PRを進めていきたい。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
<p>最終的に申請数101件で362名(うち国際大会1件・1名)、22種目からの申請があった。コロナの影響により例年に比べると多い方ではないが、全国大会の開催が少ない中でもこれだけの申請があり、市内の多くの方が全国大会に出場しているのが分かる。引き続き周知に努め、全国大会出場への意欲向上や選手等の負担の軽減を図る。</p>								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10113_23		
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費		細事業名	新居浜市ソフトボールジュニアカップ開催助成事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課	旧スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市ソフトボールジュニアカップエントリーチーム			数値	24チーム		
	手段(どうやって)	年1回ジュニアカップという大会を開催する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	中四国各地から参加チームが集まり、対戦、交流することで新居浜市の少年ソフトボールのレベル向上を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		200	200	200	200	補助金 200千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	200	200	200	200			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
新居浜市のチームの上位(ベスト4)入賞			目標値	0	0	1	1	—
			実績	0	0	2	2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染症が一時落ち着きを見せた期間に、大会への参加対象を愛媛県内のチームのみとして開催できた 本市より3チームが参加し、準優勝・ベスト4・決勝トーナメント(1回戦)と全チームが予選リーグを突破し、本市の小学生ソフトボールの競技力に向上が見られた								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止					
今年度の大会開催で公募補助金の受け取り上限(3回)に達したため、次年度以降は公募補助金を要しない大会の開催を模索する								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	D:事業の統合・休廃止を検討					
新型コロナウイルスの影響により大会を中止した年度もあったが、大会開催により市外からもチームを招き、市内ソフトボールチームの競技力向上(中萩JSSの全国大会出場)に貢献できた。公募補助金の上限に達したため、本事業は終了となる。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10113_32			
事業名(行目名称)		市民体育充実強化費	細事業名	全国大会出場奨励補助金				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上				
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	旧スポーツ振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	全国大会・国際大会出場選手		数値	約480人			
	手段(どうやって)	新居浜市と包括連携協定を締結しているソフトバンクグループが提供している唾液PCR検査を提供し、全国大会出場奨励金の支出対象者に対して検査費用を補助する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	全国大会から新居浜市に帰郷した後、安心してスポーツ活動及び日常生活に戻ることを目的としている。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		95	200	200	406	新型コロナウイルス感染症検査費用補助金 200千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		95	200	200	406			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
補助人数			目標値	0	0	100	150	—
			実績	0	0	130	146	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>全国大会が感染拡大地域である場合もあるため、唾液PCR検査を実施することで、選手及び保護者の不安を軽減しているとの声をいただいている。ただし、補助対象者がスポーツ振興課事業の全国大会出場奨励金の支出対象者となっているため、学校行事としての全国大会は対象外であるなど、制度としての課題があった。(令和3年度については特別決裁にて対応)</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止					
<p>民間のドラッグストア及び新居浜市として検査キットの配布を行うなど、容易に検査ができる環境の整備が進んでいるため、令和3年度をもって廃止する。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		D:事業の統合・休廃止を検討					
<p>13団体から申請があり、選手及び保護者の全国大会参加への不安を軽減することができた。 民間のドラッグストア及び新居浜市として検査キットの配布を行うなど、容易に検査ができる環境の整備が進んでいるため、令和3年度をもって廃止する。</p>								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10306_01	
事業名(行目名称)		青少年育成スポーツ活動費		細事業名 青少年育成スポーツ活動事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課 旧スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	ジュニアスポーツ選手及び指導者			数値	約600人	
	手段(どうやって)	スポーツ大会(7月下旬~8月上旬)バレー、サッカー、バスケットボール、ソフトボールを実施。指導者研修会(6月7月各1回)バレー、サッカー、バスケットボール、ソフトボールを実施。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	少子化の進行による子供の減少に加えて、子供たちのスポーツ離れや体力・運動能力の低下が見受けられる中、研修会・スポーツ大会を通じて運動・スポーツをする契機づくりとそれを行う指導者を育成するための機会を増やす。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		507	559	559	531	<ul style="list-style-type: none"> ・少年スポーツ指導者研修会 講師謝礼金 8千円×8回=64千円 ・少年スポーツ大会 審判謝礼金 40千円×4回=160千円 ・消耗品費 消耗品費 315千円 	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	507	559	559	531		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	
指導者研修会への参加者数			目標値	550	600	550	550
			実績	580	375	180	253
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	統合する				
新型コロナウイルス感染症の影響による体育施設の休館で実施できない講習会及び大会があったが、今後においても各競技種目において更新されるルール及び指導方針に対応するための講習会及び各種スポーツ大会をの開催については、各競技指導者及び子供の能力向上に寄与することから必須事業であり、次年度より生涯スポーツ振興事業に統合したい。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
令和4年度から生涯スポーツ振興事業として統合するため、当事業については予算要求しない。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)		D:事業の統合・休廃止を検討			
ルール改正や指導方法等について指導者に講習を行い、市内各種目競技の競技力向上に寄与している。単独で行う事業としては終了し、生涯スポーツ振興事業に統合し進めていく。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10431_02	
事業名(行目名称)		競技スポーツ強化事業費		細事業名	競技スポーツ強化事業		
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課	旧スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	国民体育大会関連種目協会の選手及び指導者			数値	22団体	
	手段(どうやって)	それぞれの種目協会と連携して強化練習や指導者講習会等を開催する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	ジュニア育成、競技力向上を図り、本市選手が国体で活躍できる環境を整える。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,654	2,000	2,000	1,683	競技スポーツ強化事業補助金 1,300千円 セーリング競技強化事業補助金 700千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,654	2,000	2,000	1,683		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
事業実施競技団体数			目標値	10	10	10	10
			実績	9	8	10	8
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
コロナの影響による度重なる市内施設の休館などにより、多くの種目協会が活動を制限されている状況が続いているが、そのなかでも各協会が工夫をして活動を行っている。 活動状況により新たな競技(ゴルフ)に対して補助を行うなど、引き続きスポーツ協会を通して各種目協会の活動環境を整えていく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
活動が制限されている中でも、各種目協会により質の高い活動を行っていただき、ジュニア世代の選手の発掘育成、指導者の育成、種目協会選手の強化育成を図る必要があるため、現状維持にて予算要求を行う。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
今年度は新たな競技ゴルフを含む8種目にて事業を実施した。コロナ禍で思うように活動できない種目もあったものの、その中でも実施のできる範囲で各種目協会に協力いただき、ジュニア育成、競技力向上を図ることができた。今年度、ゴルフに対して新たに補助を行ったように、市内の様々な種目のジュニア選手に目を向けて、育成・強化が図られるよう、引き続きスポーツ協会と連携して事業を継続していく。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10473_02		
事業名(行目名称)		学校スポーツ活性化事業費	細事業名	高校スポーツ強化指定校事業補助金				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上				
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	旧スポーツ振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内高校指定運動部			数値	7部活動		
	手段(どうやって)	市内の各高校が強化を希望する部活動のうち、教育委員会が認めたものを強化指定校(部活動)として補助金を支出する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	全国大会出場常連校など、市内の中学生アスリートが進学したいと思うような、魅力ある高校部活動を目指して、競技力の向上を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		2,764	4,275	4,275	3,139	市内4高校 7部活動への補助金 4,275千円 新居浜東高 バドミントン部(731千円) ヨット部(475千円) 駅伝部(693千円) 陸上部(475千円) 新居浜商業 バasketボール部(475千円) 新居浜工業 ウエイトリフティング部(665千円) 新居浜南高 ウエイトリフティング部(760千円)		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	2,764	4,275	4,275	3,139			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
全国大会出場部活動			目標値	7	7	7	7	7
			実績	6	3	5	5	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>昨年から引き続いて、コロナの及ぼす影響は大きく、指定部活動が当初予定していた、強化合宿や県外遠征などはほとんど中止となっている。今年度も部活動は大きな制限を受け、思うような活動ができていない。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>翌年度は、指定部活動の見直しを行い、新たな部活動も含めより重点的に強化したいため、現状維持にて予算要求したい。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>状況を見ながら可能な範囲で遠征や強化合宿を行う部活動もあり、練習環境整備と合わせて、コロナ禍でもそれぞれが工夫して競技力の向上を図ることができた。インターハイへの連続した出場など、継続した事業の実施により一定の成果が表れているため、当事業を活用してより質の高い充実した練習環境を整えていただき、全指定部活動の全国大会出場を目標とする。</p>								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10550_01	
事業名(行目名称)		愛・野球博開催事業費		細事業名	愛・野球博開催事業		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上		
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課	旧スポーツ振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	2022プロ野球オールスターゲーム関連イベント			数値	1事業	
	手段(どうやって)	令和4年度に松山市で開催されるプロ野球オールスターゲームを愛媛県下全域で盛り上げるため、各種イベント等を開催する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	オールスターゲームの開催により、県内の野球振興や地域振興に繋げるほか、愛・野球博のレガシーを築き上げることで、野球文化の持続的な定着を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	愛・野球博実行委員会負担金 600千円	
経費		445	600	600	600		
財源	県・国支出金	223	300	300	300		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	222	300	300	300		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
新居浜市における事業実施回数			目標値	1	2	1	1
			実績	2	2	0	1
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
令和4年度までの事業でもあり、目的達成のため愛媛県下全域の市町で取り組んでいるため、現状のまま維持する。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
令和4年度で完結する事業であり、今年度予算と同内容で実施するため、現状維持とする。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
2022年開催のプロ野球オールスターゲームを県下全域で盛り上げるべく、機運醸成事業として、本市では12月12日(日)にあかがねミュージアムにて歴代プロ野球オールスターゲームポスター展(~26日まで)、野球体験イベント、元プロ野球選手である愛媛マンダリンパイレーツ河原前監督によるトークショーを開催した。市民に対して、オールスターゲームの認知度を高めるとともに、開催に向けた機運の醸成を図ることができた。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10566_01			
事業名(行目名称)		ホストタウン交流促進事業費	細事業名	ホストタウン交流促進事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上				
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	旧スポーツ振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民との交流チーム		数値	2チーム			
	手段(どうやって)	ホストタウンとして登録を受けたサウジアラビアウエイトリフティングチームの東京オリンピック事前合宿を実施するとともに日本人オリンピックとの交流を推進する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	東京オリンピック事前合宿の実施により、市内選手との交流を深め、相互の競技力向上を目指すとともに、サウジアラビアとの交流を深化させる。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		1,863	8,254	0	0	時間外勤務手当 122千円 旅費(費用弁償・特別旅費) 596千円 負担金補助及び交付金 7,536千円 内訳 ・新居浜市ウエイトリフティング推進実行委員会 7,536千円 (サウジ受け入れ経費等)		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	8,254	0	0			
一般財源		1,863	0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
ホストタウン交流計画搭載事業実施回数			目標値	2	1	1	0	—
			実績	1	0	0	0	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する					
1年延期された東京オリンピックは、新型コロナウイルス感染症により本市で計画していた、サウジアラビアの事前合宿受入等の交流事業は全て中止となった。しかしながら、内閣官房が実施するサウジ横連携事業等に参画し、オンライン交流などできる限りのホストタウン活動に取り組む。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止					
東京オリンピック関連事業であるため、今年度で終了する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	D:事業の統合・休廃止を検討					
計画していたサウジアラビアの事前合宿受入等の交流事業はコロナの影響により全て中止となったが、内閣官房が実施するサウジ横連携事業等に参画し、オンライン交流などできる限りのホストタウン活動に取り組んだ。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10566_02		
事業名(行目名称)		ホストタウン交流促進事業費	細事業名	ホストタウンPR事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	旧スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	東京オリンピック来場者	数値	約30000人			
	手段(どうやって)	(一社)ホストタウンアピール実行委員会が東京オリンピック期間中に実施するホストタウンハウスへ、新居浜市やホストタウン活動のPRのために出展し、世界各国から訪れる来場者へ新居浜市をアピールするとともに、現地でホストタウン相手国選手等と交流を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市の知名度アップとインバウンド観光客の増大へ貢献する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			2,511	0	0	時間外勤務手当 259千円 旅費(特別旅費) 1,000千円 広告料(ホストタウンハウス出展料) 1,252千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		2,511	0	0		
	一般財源		0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
ホストタウン交流		目標値	0	1	1	0	—
		実績	0	0	0	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
1年延期された東京オリンピックは、新型コロナウイルス感染症によりホストタウンハウスの設置などリアルな交流事業は全て中止となった。そのため、ホストタウンアピール実行委員会がバーチャルで展開するホストタウンハウスへ参加する。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
東京オリンピック関連事業であるため、今年度で終了する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	D:事業の統合・休廃止を検討				
新型コロナウイルス感染症の影響により事業の実施なし。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10578_01		
事業名(行目名称)		東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー等推進事業	細事業名	東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー等推進事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	旧スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	東京2020オリンピック・パラリンピック聖火イベント	数値	聖火イベント2回			
	手段(どうやって)	2020年4月22日(水)に本市で実施する東京オリンピック聖火リレー及び8月15日(土)に実施するパラリンピック聖火フェスティバルに向けて、愛媛県実行委員会のほか県警や警備会社等と当日の運営や警備計画について綿密な打ち合わせを行い、安全かつ確実に実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	本市においても、東京2020オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルを行うことにより、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に取り組む。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	委託料 1,290千円 負担金 3,171千円	
経費		690	4,461	4,461	3,293		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	4,461	4,461	3,293		
	一般財源	690	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
聖火イベント実施回数		目標値	0	2	2	2	—
		実績	0	0	2	2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
聖火リレーとパラリンピック聖火フェスティバルについては、東京2020大会の延期により同様に一年延期となったが、コロナの影響を受けつつも聖火リレーについては4月21日(水)に、パラリンピック聖火フェスティバルについては8月14日(土)に、多くの方のご協力により無事開催することができた。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
東京オリンピック関連事業であるため、今年度で終了する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		D: 事業の統合・休廃止を検討				
東京2020大会の延期により、聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルについても同様に一年延期となり、さらに今年度も急な計画変更など、コロナの影響を大きく受けた事業であったが、聖火リレーについては4月21日(水)に、パラリンピック聖火フェスティバルについては8月14日(土)に、様々な機関・団体、そして市民の皆様のご協力により無事開催することができた。 聖火リレーについては、11名のランナーと4名のサポートランナーがあかがねミュージックから新居浜市役所まで聖火をつなぎ、多くの方に感動を与える貴重な時間となった。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10605_01		
事業名(行目名称)		全国高校総体推進事業費	細事業名	全国高校総体推進事業			
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興	担当課	旧スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	インターハイ出場者等		数値	約4000人		
	手段(どうやって)	令和4年度四国ブロックで開催される全国高校総体は、新居浜市でウエイトリフティング競技が行われる。大会の成功に向けて、愛媛県とも連携し、円滑な準備と大会運営に取り組む。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	全国から集まる高校生選手等の一生の思い出となるよう、素晴らしい大会の開催を目指すとともに、ウエイトリフティングによるまちづくりの確立に貢献する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		0	1,580	1,580	1,164	時間外勤務手当 183千円 旅費(特別旅費) 297千円 使用料及び賃借料 100千円 負担金及び交付金 1,000千円 内訳 ・新居浜市実行委員会負担金 1,000千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	1,580	1,580	1,164		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
大会参加者等来市者数		目標値	0	0	0	0	4000
		実績	0	0	—	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
今年度大会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、無観客、感染対策の充実とこれまでにない大会運営が求められた。来年度の本市大会においても、同様の対策も念頭において準備等を進める必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
必要最小限の経費で最大の効果が出るよう大会運営費等の精査を行いつつ、安全、安心な大会を目指す。また、リハーサル大会として開催予定の東京オリンピック出場選手等が出場する全日本選手権大会も、成功に向けて競技団体と連携し取り組む。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
令和4年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会新居浜市実行委員会を立ち上げ、7月19日(月)に設立総会及び第1回総会を開催した。また、円滑な準備・運営を進めることを目的として、8月には、今年度の開催地である福井県小浜市の競技大会を視察した。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10611_01		
事業名(行目名称)		新居浜市合宿誘致事業費		細事業名	新居浜市合宿支援奨励金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	スポーツの振興と競技力の向上			
	基本計画	競技スポーツの振興		担当課	旧スポーツ振興課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市外のスポーツを行う団体			数値	約1000人		
	手段(どうやって)	1回のスポーツ合宿において10万円を限度として支出する。 (延べ宿泊数に1泊あたり1000円(簡易宿泊施設は500円)を乗じて得た額)						
	目的(どんな状態にしたいのか)	スポーツ団体等が市内体育施設を活用したスポーツ合宿を実施することにより、本市のスポーツ振興や地域経済活性化、交流人口の増加を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		0	1,000	1,000	0	報償費 1,000千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	0	1,000	1,000	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
合宿宿泊者数(延べ)			目標値	0	0	500	1000	1000
			実績	0	0	0	0	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
コロナの影響により合宿についても実施は困難な状況であり、現時点の申請数は0件である。状況が緩和した際に少しでも多くの方に申請いただけるように、チラシを作成してHPや体育施設に掲示し広報に努めている。その成果もあり、事業内容を詳しく知りたいという電話でのお問い合わせが数件あった。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
新設された重量挙げ練習場やリニューアルした市民体育館をうまく活用して引き続き事業のPRを図り、合宿誘致に努める。翌年度は、市内でのナショナルチームの合宿も検討されているため、本事業をうまく活用し対応できるように、支出基準の見直しなども行っていきたい。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
1年を通して、コロナの影響が大きく、申請は0件であった。R4年は、松山大学野球部の合宿やデフ陸上協会の合宿を夏に予定しており、他にもバドミントン・ウエイトリフティングの日本ナショナルチームや高知大学のセーリング部など多数のお問い合わせをいただいている。状況が緩和すれば実績は見込めるので、引き続きPRを行う。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	10357_01		
事業名(行目名称)		体育施設環境整備事業		細事業名 体育施設環境整備事業				
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 スポーツの振興と競技力の向上				
	基本計画	施設環境の整備		担当課 旧スポーツ振興課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	新居浜市民			数 値	117439人		
	手 段 (どうやって)	施設及び設備の設計委託と改修。備品の更新及びルール変更に伴う新規購入。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	施設修繕等を行い適正な施設の管理運営を図り、体育施設を利用する市民の利便性の向上や快適な使用環境を提供し、施設利用者の増加を図る。また、施設の不備による臨時の休館をしないように適正な管理をしていく。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		63,350	39,022	39,022	32,611			
財 源	県・国支出金	0	0	0	0	職員手当 55千円 工事費 28,738千円 備品購入費 10,229千円		
	地方債	32,800	13,200	13,200	12,000			
	その他	27,894	20,603	20,603	15,443			
	一般財源	2,656	5,219	5,219	5,168			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
体育施設利用者数			目標値	470000	400000	400000	400000	400000
			実績	474539	332399	151030	244922	—
V 事 中 評 価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
各体育施設の改修等工事及び備品購入により、快適にスポーツを行える環境の整備が進められている。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
各体育施設の老朽化は進んでいることから、次年度についても今年度と同様の予算規模で事業を実施する必要がある。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
今年度は、山根総合体育館卓球コーナー床改修工事及び東雲市民プール内外部改修工事を行った。予算の中で既存の体育施設の機能充実を図り、環境整備に努めているが、施設の老朽化は日々進捗しており、今後においても施設の改修工事など、施設環境の整備を続けていく必要がある。								